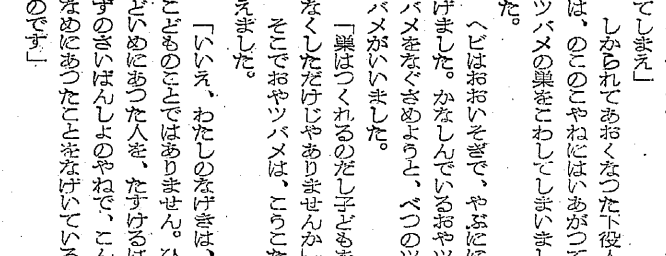


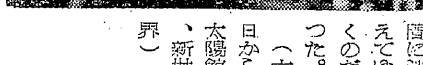
作、建設、五日四山、六日緑中
兵、万田、七日宮原、宮浦



一人の青年谷川（池田眞）が高利貸になつて、餐食地歩を固める。彼は彼の差額で自殺した債務者の娘せつ子（司葉子）に会い、彼女は何もしてぬ様子だが谷川はこれをする。しかも彼女の弟が大学卒

みブローカーに驚ぶれながら、しいスタートについた。せつ子は彼を追つた。木枯しの強くふくむと、二人はしほじみ向ひあつた。しかしせつ子の切なげな願ひをし、ぞけて谷川はたゞ一人夕やみの

園に
えて
くの



告曰した。姉弟は彼を許さうとはしなかつた。驚胆した彼は昭和土地の社長雄雌六二郎が通拳資金ねん出に持株三十万株を売りに出すのを聞き、猛然とフアイト（闘志）を燃えたゝせた。

自分の資金はもうあん銀行の支店（新世界）六日より「現代の急務（荒野の婦人）」

○東映「六日より」満月あはれ
「火の鳥」
○銀星「四日より」銀のさかすき
「私の夫は二人いる」
○名画座「六日より」火の鳥
「荒野の婦人」